

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

きりしましこくぶちゅうおう

霧島市国分中央地区(第3期)

令和7年2月

きりしま

鹿児島県霧島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	通りの回遊性	人/日	1,405 (H27)	1,405 (R3)	1,692 (R3)	確定	●	○	あり		R 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	第1期計画から取り組んできたハード整備や民間のまちづくり団体によるまちなかでの定期的なイベント開催等の取り組みにより、中心市街地への来客が増加したものと考えられるが、調査実施時期が新型コロナウイルス感染症の第5波が収束し、県内でも感染者が出ていない時期に重なったことも影響していると考えられる。
						見込み			なし						
指標2	中心市街地の活性化に関する満足度	%	63 (H28)	65 (R3)	83 (R3)	確定	●	○	あり		R 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	空き店舗を活用した新規出店を促す事業を実施し、新規出店がなされたことが一因と考えられるが、依然として空き店舗や空き地などの遊休不動産は多く存在している。また、設問が中心市街地に特化したものではなく、国分・隼人地域全体を対象としており、国分中央地区外において、ロードサイド型・郊外型の全国展開している有名・人気チェーン店が近年多く進出していることが大きな要因になっているものと考えられる。
						見込み			なし						
指標3						確定			あり		R 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	JR国分駅の乗車人員数	人/日	2,888 (H27)		2,451 (R2)	確定			2,629 (R5)	R6年8月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	九州内の多くの駅においても同様の傾向であり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により鉄道利用者が大幅に減少したものと考えられる。一方、緊急事態宣言の終了により、鉄道利用が増えつつあり、今後も引き続き、整備施設の適切な維持管理を図るとともに、賑わいの創出や回遊性の更なる向上に向けた各種取り組みを展開し、国分中央地区の求心力の回復に努める。
						見込み	●							
その他の数値指標2	安全・快適な歩行空間提供率	%	52 (H28)		55 (R3)	確定	●			R 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	基幹事業である道路整備に伴い、着実に歩行空間が増加している。
						見込み								
その他の数値指標3						確定				R 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	ハード事業の効果を高めるためのソフト事業の実施	・空き店舗活用による新規創業やまちづくり人材の育成 ・公共空間活用に向けた社会実験の実施	・実際の空き店舗を題材にしたスクールを開催し、 新規店舗が3店舗オープンした。 ・市民会館前広場の滞在環境が向上するとともに、 来訪者アンケートや人流調査の結果により再整備 に向けた検討事項を整理することができた。	・公民連携による公共空間の利活用に向けて、運営面のみならず 資金面も含めた持続的なまちづくり体制を構築する必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	「核」、「顔」としての求心力の回復に向けた、まちの総 合力の向上	・商業・業務拠点周辺道路及び公共空間の高質化 ・空き店舗活用による新規創業やまちづくり人材の育成	・道路の高質化(カラー舗装)及び歩道空間の確保 に向けて整備を進めている。また市民会館前広場 の社会実験により滞在環境が向上した。 ・実際の空き店舗を題材にしたスクールを開催し、 新規店舗が3店舗オープンした。	・商店街における空き店舗、駐車場及び空き地は依然として多く 存在しており、都市がスポンジ化し地価が大幅に下落している。そ のため、まちなかの魅力や個性を磨くまちづくり人材の育成が引 き続き求められる。
	骨格道路や市民生活に密着した道路の整備改善によ る交通アクセス条件、歩行者の快適性の向上	・商業・業務拠点周辺道路及び公共空間の高質化 ・犬追馬場線の整備	・道路の高質化(カラー舗装)及び歩道空間の確保 に向けて整備を進めている。また市民会館前広場 の社会実験により滞在環境が向上した。 ・犬追馬場線の道路改良を進め、一部区間で整備 が完了し、安全な歩行空間の確保を行った。	・マンションの増加や郊外型商業施設の増加などに伴う交通量の 増大により、幹線道路の一部では慢性的な交通渋滞が発生して おり、車と歩行者が共存できる環境整備が求められている。
	安心・安全なまちとしての機能の向上	・商業・業務拠点周辺道路の高質化 ・犬追馬場線の整備	・道路の高質化(カラー舗装)及び歩道空間の確保 に向けて整備を進めている。 ・犬追馬場線の道路改良を進め、一部区間で整備 が完了し、安全な歩行空間の確保を行った。	・幹線道路ネットワークや交通結節点機能といった軸の形成は進 展がみられるものの、軸にアクセスする細道路においては、歩行 空間が明確でない区間や幅員狭小区間の存在による自動車のす れ違いが困難な箇所が存在しており、自動車及び歩行者移動の 安全性向上が求められる。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画

きりしましこくぶちゅうおうちくだい き
霧島市国分中央地区(第3期)

かごしま きりしまし
鹿児島県 霧島市

平成29年1月12日

平成30年11月13日(第1回変更)

平成31年2月12日(第2回変更)

令和2年3月13日(第3回変更)

令和3年1月8日(第4回変更)

令和4年2月1日(第5回変更)

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業	☒
まちなかウォークアブル推進事業	☒

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	鹿児島県	市町村名	霧島市	地区名	霧島市国分中央地区(第3期)	面積	84 ha
計画期間	平成29年度～令和3年度	交付期間	平成29年度～令和3年度				

目標
大目標:未来に向けた新たな地域の発展をリードする安全・快適な国分地域の核と顔づくり 目標1:「核」、「顔」としての求心力の回復に向けた、まちの総合力・回遊性の向上 目標2:骨格道路の機能強化と市民生活に密着した道路の質の強化 目標3:安心・安全なまちとしての機能の向上

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ■中心市街地活性化基本計画に基づくまちづくりの展開 当市においては、平成11年度に「国分市中心市街地活性化基本計画」を策定し、「未来と歴史が交流する中心市街地の再生」をまちづくりの基本目標のもと、中心市街地の再生、県央中核都市にふさわしい商業の活性化を図るため、都市計画道路、駐車場等のハード面の整備を実施可能な箇所から順次進めてきている。また、TMO(旧国分市商工会議所)においても、平成11年策定された「TMO構想」に基づき、タウン誌発行、街中ガーデニング、こくぶ八坂市開催等のソフト事業を着実に実施してきている。 ■まちづくり総合支援事業、まちづくり交付金事業による地域活性化や住民の利便性向上に向けた都市基盤整備 中心市街地活性化基本計画に基づくまちづくりの展開の中で、霧島市が実施した基盤整備のうち、国分駅西口駅前広場、国分駅東西自由通路、都市計画道路、公園・ポケットパーク、アメニティ歩行空間整備については、「国分中央地区まちづくり総合支援事業」により、また、都市計画道路(平和通線、向花清水線)、国分駅東口自転車駐車場、国分パークプラザ内市民広場、ペDESTリアンデッキについて、「国分中央地区都市再生整備事業」により、総合的に実施している。 ■地域の現況 ・国分中央地区はH17年の市町村合併後策定された霧島市都市計画マスタープランに基づき、主要な都市機能を集約する「核都市」とし、拠点性の強化並びに定住化の促進等の活性化を促進しなければならない地区として位置づけられている。 ・国分中央地区の歩行者通行量は、国分山形屋やパークプラザといった、商業・業務核の整備後に大幅な増加を示したものの、その後伸び悩んでいる状況にある。また、隣接する始良市において基本商圏を車60分(約30km圏内、霧島市国分中心市街地から約8km)とする大型ショッピングモールが進出しており、今後周辺地域からの流入率の低下や、まちの求心力の低下が懸念される。 ・中心地区として「夜の賑わいの創出」も重要であり、一部、照明や街路灯等の整備を行ってきたが、未だ夜間の賑やかさの演出に乏しく、防犯の観点やまちの安全性からもさらなる整備が求められている。 ・幹線道路ネットワークや交通結節点機能といった軸の形成は進展がみられるものの、軸にアクセスする細道路においては、歩行空間が明確でない区間や幅員狭小区間の存在による自動車のすれ違いが困難な箇所が存在しており、自動車及び歩行者移動の安全性向上が求められる。 ・国分山形屋・パークプラザといった拠点施設整備はなされたものの、その周辺地域の道路においては、回遊性を高めるような空間づくりが不足しており、賑わいに欠ける。
課題
●国分中央地区の求心力の回復に向けた、賑わいの創出や回遊性の更なる向上に向けた取り組みの展開 ・国分中央地区の求心力の回復に向け、商業拠点として魅力ある商業環境や賑わいの創出に向けたハード、ソフトの取り組みを改めて実施する必要がある。 ・拠点地区における夜間の「賑わいの創出」、「防犯性の向上」に向けた取り組みを展開する必要がある。 ●街へのアクセス、街中を巡る道路機能の更なる強化と質の改善 ・幹線道路ネットワークの未結区間の早期整備による、中央地区へのアクセス性や中央地区内での回遊性の更なる向上を図る必要がある。 ・国分山形屋・パークプラザ周辺の市民生活に密着した道路ネットワークの質的強化を図る必要がある。 ●安全性の高い市街地環境の確保 ・市民生活に密着した細街路における安心・安全な自動車走行空間、歩行者空間の創出を図る必要がある。
将来ビジョン(中長期)
■霧島市都市計画マスタープラン ●都市づくりの基本理念:世界にひらく、人と自然・歴史・文化がふれあう都市 ●都市の将来像:人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市 *土地利用の方針 ・国分中央三丁目を中心とする市街地を、市民や来訪者のための商業・業務地と位置付け、商業施設や業務施設等の立地を誘導する。 ・国分パークプラザ等が立地する中心市街地は、空き店舗・未利用地の有効活用や、回遊できる歩行者空間の整備などを進め、県央地域中核都市の商業拠点にふさわしい中心商業地として活性化に努める。 ・都市計画道路向花清水線のJR国分駅西側周辺沿道や都市計画道路野口線の川跡交差点から隼人市街地に至る沿道には、ロードサイド型の商業施設が立地していることから、都市景観に配慮した沿道型の商業地の形成を図る。 *道路・交通施設整備の方針 ・都市計画道路については、新町線、川跡線、犬追馬場線、山崎線の早期完成を目指す。 *下水道・河川整備の方針 ・都市化の進展による保水力の低下に対応し、浸水被害対策のための雨水幹線排水路やポンプ場等の施設の整備を図る。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	
						目標値	目標年度
通りの回遊性	人/日	中心市街地における1日あたりの歩行者数	中心市街地の歩行者数の増加が、「核」、「顔」としての求心力の回復に向けた、まちの回遊性の向上の度合いを示すものである。	1,405	H27年度	1,405	R3年度
中心市街地の活性化に関する満足度	%	霧島市市民意識調査における「国分・隼人の中心市街地は活性化しているか」に対する「そう思う」の回答割合	市民の中心市街地の活性化に対する満足度が、「核」、「顔」としての求心力の回復に向けた、まちの総合力の向上の度合いを示すものである。	63	H28年度	65	R3年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
●歩行者の回遊性の向上と快適な歩行者空間の整備によるまちとしての総合力・回遊性の向上 ・国分山形屋、国分パークプラザ周辺の商業・業務拠点内の歩行者回遊ネットワークの整備を図る。 ・拠点地区内の夜の賑わいの創出や防犯性の向上を図るための環境整備を図る。		●基幹事業 （高質空間形成施設） 市道西町線、川跡地区道路（カラー舗装、水路床版整備）
●骨格道路の機能強化と市民生活に密着した道路の質の強化 ・未整備の幹線道路の早期整備による骨格強化及び市民生活に密着した密着性の高い道路及び交通施設整備を図る。		●基幹事業 （道路） 市道町の下2号線、犬追馬場線 （高質空間形成施設） 市道西町線、川跡地区道路（カラー舗装、水路床版整備）
●安心・安全なまちとしての機能の向上 ・安全性、防犯性の高い快適な歩行者空間や環境整備を図る。		●基幹事業 （道路） 市道町の下2号線、犬追馬場線 （高質空間形成施設） 市道西町線、川跡地区道路（カラー舗装、水路床版整備）
その他		
○円滑な事業執行の環境 ・交付期間中に、事業の進捗状況や成果の発現状況を把握し、その後の事業を円滑に実施するため、モニタリングを実施する予定である。 ○継続的なまちづくり活動 ・霧島市商工会議所と連携し、中心街区内通り会によるまちづくり活動への支援やこれらと一体となったまちづくりに努める。		

様式(1)-④-2

(金額の単位は百万円)

...A

...B

00

様式(1)-④-3

(金額の単位は百万円)

...A

...B

9

0